

## News Release

2015年9月16日

世界初<sup>※1</sup>、8K(スーパーハイビジョン)規格の映像に準拠<sup>※2</sup>8K映像モニター<sup>※2</sup> 第1弾モデル<LV-85001>を発売

シャープは、市販品として世界で初めて<sup>※1</sup>、8K(スーパーハイビジョン)規格の映像に準拠<sup>※2</sup>し、かつ8K解像度でのHDR拡張表示<sup>※3</sup>にも対応した高精細・高画質な8K映像モニター<sup>※2</sup><LV-85001>を10月30日より発売します。

本機は、フルハイビジョンの16倍の解像度を持つ8Kの85V型IGZO<sup>※4</sup>液晶パネルを採用しています。8Kの高精細表示に加え、液晶テレビ「AQUOS」で培った高輝度・広色域表示技術などを搭載することにより、高画質で圧倒的なリアリティを表現する映像モニターを製品化しました。

当社は、本機をプロユースの機器として法人ユーザー様を中心に販売してまいります。映像制作事業者様には2018年に予定されている4K・8K実用放送<sup>※5</sup>に向けてのコンテンツ制作用途にご活用いただくことができます。また、超高精細・高画質映像を表示することから、リアリティを徹底的に追求する産業デザイナー様のデザインプレゼンテーションの訴求力向上や、美術館・博物館での美術・工芸品の新たな展示演出などを実現します。

本機は、10月7日に開幕する「CEATEC JAPAN」のシャープブースで公開するほか、当社東京支社(東京都港区)のB to Bショールーム<sup>※6</sup>にも展示し、お客様にご紹介してまいります。

総務省主催の「4K・8Kロードマップフォローアップ会合<sup>※7</sup>」では、2020年に「4K・8K放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K放送を楽しんでいる」ことを目標としています。この目標の実現に向け、当社は今後も4K・8K対応の新製品の開発に取り組んでまいります。

品名	8K映像モニター <sup>※2</sup>
形名	LV-85001
希望小売価格	オープン
発売日／月産台数	10月30日／受注生産品

※1 2015年9月16日時点。

※2 8K(スーパーハイビジョン)規格の映像は、アスペクト比16:9、画素数7,680×4,320、表示フレーム周波数最大120Hz、BT.2020色域、量子化ビット数最大12ビットなどが定められており、本機はこれらに準拠した表示能力を持ちます。(7,680×4,320画素液晶パネル、地上・BS・110度CSデジタル放送チューナーを搭載しますが、BS・110度CSによる4K・8K放送を受信する機能は搭載していません)

※3 映像信号を分析して輝き成分を抽出・拡張表示し、映像のコントラスト感を高める技術。HDR：ハイダイナミックレンジの略。

※4 IGZO液晶は、株式会社半導体エネルギー研究所との共同開発により量産化したものです。

※5 2014年9月総務省発表。実用放送とは、一般放送において家庭で受信可能な環境が整備されており、商用放送されているもの。または、基幹放送において放送試験局ではなく、放送局/実用化試験局で放送されるもの。

※6 法人のお客様用のショールームです(完全予約制)。

※7 総務省が開催している4K・8Kの超高精細映像を活用した放送の早期実現、新コンテンツやサービスの創出を目指した会合。

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://www.sharp.co.jp/business/8k-display/>

## 【お問い合わせ先】

お客様：フリーダイヤル ☎ 0120-099-233